

技術委員会 2019年度活動報告

2020年6月17日(水)
紙製容器包装リサイクル推進協議会

2019年度 技術委員会の主な活動

紙製容器包装の排出量・回収量に係わる調査

1. 組成分析調査

- 1) 「雑誌・雑がみ」分類の組成分析調査(古紙ルート)
- 2) 「紙製容器包装」分類の組成分析調査(容リルート)

2. マテリアルフロー(2018年度実績)の 作成

紙製容器包装の回収率の出し方

$$\text{紙製容器包装の回収率} = \frac{\text{紙製容器包装の回収量(B)}}{\text{全国の家庭から排出される紙製容器包装の総量(A)}}$$

A 全国の家庭から排出される

紙製容器包装の総量 : モニター調査

B 紙製容器包装の回収量 = 各分類の回収量(D)

× 各分類における紙製容器包装の構成比(C)

(各分類:「紙製容器包装」「雑がみ」「雑誌・雑がみ」「古紙」)

C 各回収分類における紙製容器包装の

構成比調査 : 組成分析調査

D 各分類の回収量:アンケート調査(総務委員会)

「雑誌・雑がみ」分類の組成分析調査(古紙ルート)

■ 調査目的

- 「雑誌・雑がみ」分類での紙製容器包装の構成比(%)を求める。
今回は集団回収を行っている「倉敷市」を調査
- 「雑誌・雑がみ」分類中の紙製容器包装の回収量は構成比(数ヶ所の組成分析調査結果の平均)を用いて以下の式で算定

$$\begin{aligned} & \text{「雑誌・雑がみ」分類中の紙製容器包装回収量} \\ & = \text{「雑誌・雑がみ」の混合回収量} * \times \text{構成比} \end{aligned}$$

- * 混合回収量は、人口10万人程度以上の市区へのアンケートより調査(総務委員会)

倉敷市組成分析(古紙ルート)

実施日	回収方法	回収分類名	「紙製容器包装」 構成比
2019年10月18日	集団回収	雑誌・雑がみ	6.2%



* 「古紙」 構成比

紙製容器包装	6.2%
新聞・チラシ	16.9%
段ボール	0.8%
雑誌	55.2%
紙小物	20.4%

* 紙製容器包装中の内訳

紙単体	91.8%
複合品	8.2%

「紙製容器包装」分類の組成分析調査(容リルート)

■調査目的

容リルートでは、紙識別マークが付いているもの全てが回収対象。このため、紙製容器包装の構成比とともに紙製容器包装の種類ごとの比率(紙箱、紙袋、包装紙、液体紙容器、紙カップ等)の調査を合わせて実施。定点観測を回収量の多い名古屋市で実施。

■調査対象物

容リルートで市中から回収された選別前の「紙製容器包装」
分類回収物

■調査地

2019年度は、「北見市」を調査。

「名古屋市」(定点観測)は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。

北見市「紙製容器包装」組成分析(容リレート)

実施日	回収方法	回収分類名	「紙製容器包装」 構成比
2019年6月24日	行政収集	紙製容器包装	72.9%



* 「紙製容器包装」 構成比

紙製容器包装	72.9%
一般古紙	19.9%
段ボール	4.0%
紙パック	2.1%
不適合品	1.1%

* 紙製容器包装中の内訳

紙単体	88.2%
複合品	11.8%

組成分析調査まとめ

1) 「雑誌・雑がみ」分類の組成分析調査(古紙ルート)

- 倉敷市の古紙中の紙製容器包装は6.2%でした。
- 雑誌の比率が55.2%と高く、その分紙製容器包装の比率が少ないと考えられます。

2) 「紙製容器包装」分類の組成分析調査(容リルート)

- 北見市の「紙製容器包装」の実際の比率は72.9%で、昨年までの名古屋市の平均値の65.5%と比べて高い傾向でした。
- 紙製容器包装中の紙単体は88.2%と高い傾向でした。
- 名古屋市の定点観測は、継続実施する予定です。

その他の分類中の紙製容器包装の構成比

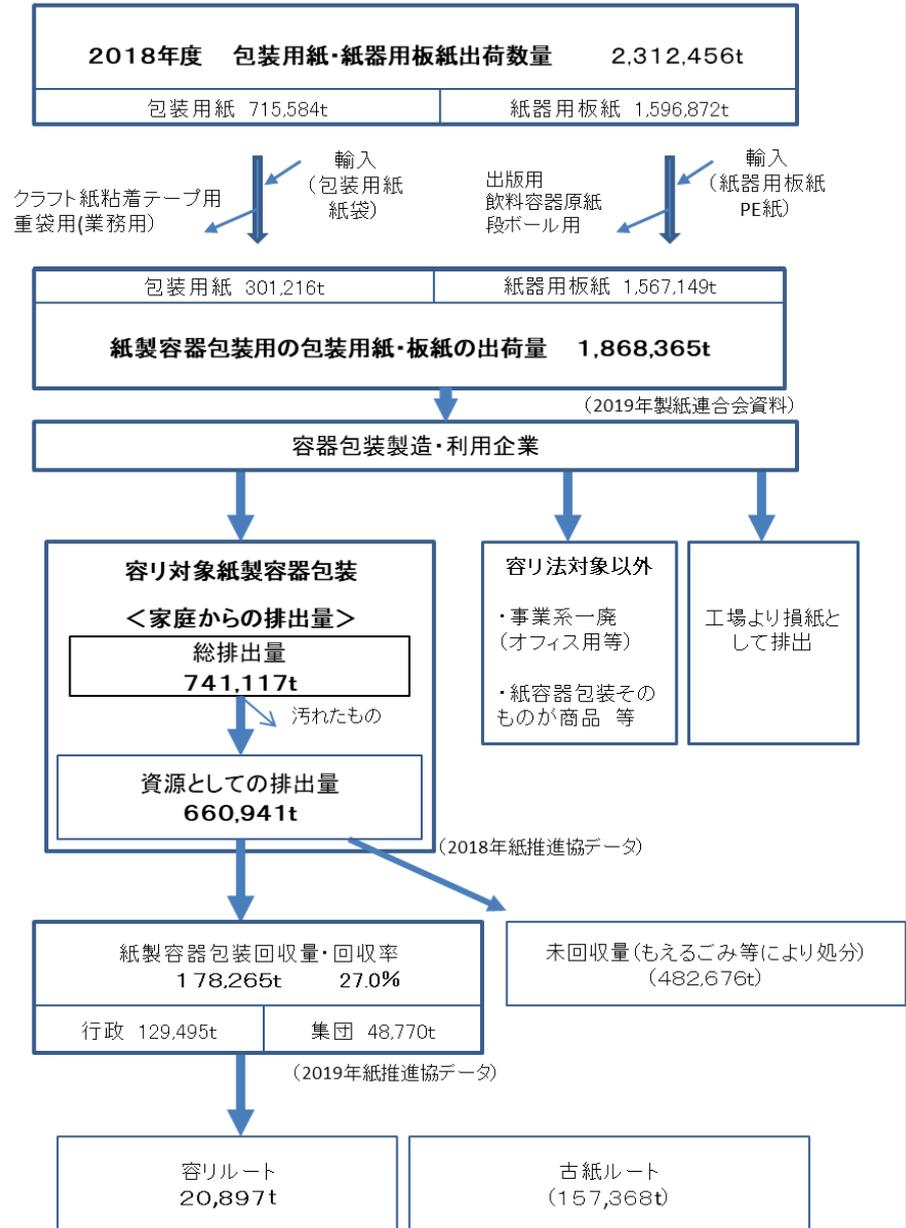
- 「雑誌・雑がみ」分類と「雑がみ」分類中の構成比は下表の数値を使用
- 各分類における紙製容器包装の構成比は数ヶ所の組成分析調査結果の平均値

	項目	紙製容器包装 構成比平均値	構成比適応年度	調査自治体	調査時期
行政収集	雑誌・雑がみ	12.9% (9市平均)	2017年度	9市(神奈川、東京、千葉、 埼玉、四国、九州)	2010～2015年度
	雑がみ	40.4% (5市平均)	2017年度	5市(神奈川、静岡、北海道)	2006～2014年度
集団回収	雑誌・雑がみ	10.5% (5市平均)	2010年度	5市(東京、千葉、神奈川、埼玉、 宮城)	2009～2010年度
	雑がみ	42.8% (5市平均)	2010年度	5市(神奈川、千葉、山形、静岡)	2008～2010年度

マテリアルフローの作成

紙製容器包装の**排出量**と**回収量**を把握し、その他のデータと組み合わせて、紙製容器包装の**マテリアルフロー**（2018年度実績）を作成。

2018年度 紙製容器包装のマテリアルフロー



技術委員会 2019年度活動報告

完